

# 東松島市立赤井小学校

2014年 12月 14日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

## 【文献】

(1) 『2万5千分1 浸水範囲概況図 宮城県』国土交通省国土地理院 <http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40017.html>

## 【場所】

海岸から約5km、定川から約300mの位置にある。

住所:宮城県東松島市赤井中2号11-1



## 【東日本大震災による被害】

津波により学校の周辺が浸水。

## 【震災当日の様子】

学校は浸水を免れたが、学校の南側は完全に浸水した。(1)  
地域の避難所に指定されていたため、地域住民が避難してきていたと思われる。

## 【調査して言えること】

今回の震災による津波で学校はぎりぎり浸水していないが、津波は海から5km離れた学校の手前まで到達しており、距離が離れていても標高が低い(学校の標高は約1.5m)と浸水する恐れがあることがよく分かった。また、学校の南に300mほどの距離に川が流れており、津波が川を遡上したことも学校南側が冠水した原因であると考えられる。

以上のことから、大きな地震の際に津波を警戒する必要のある学校であるが、学校の周囲に高台や高い建物は無いため、学校外への避難は難しい学校である。



南から見た学校(2014/11/1撮影)



校門横にある指定避難所の看板(2014/11/1撮影)